

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	CCEL Christchurch 英語研修
-----	------------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	30000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	13490 円	
現地通学費	0 円	(研修先まで 徒歩 15 分)
教養娯楽費	30000 円	ツアー参加費含む
被服費	0 円	
雑費	15000 円	
その他	7000 円	例:バス代
合計	95490 円	

渡航準備について

- 1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか

現金の用意方法: 新宿駅の両替所で換金して持って行った。(100ドル)

その他用意したもの: クレジットカード デビットカード・キャッシュパスポート

- 2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください

クレジットカード
学校のイベントに参加するために少しだけ現金を使った。

- 3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。

トリファの eSIM の無制限プランを購入した。

- 4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか

小さめのピンチハンガーが洗濯時に役立ったのと、家の中では基本的に土足なのでサンダルが役に立った。
また、海外使用ができるドライヤーを買って持って行ったが、非常に助かった。UV カットパーカーも重宝した。
日本っぽいお菓子は他の国の友達に喜ばれたのでお勧め。
唯一、コンセントの変換プラグは 2~3 個あると便利だなと感じた。

現地情報

- 1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)

なし あり (問題の内容や相談した人等:)

特記事項:

- 2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？

ネットなどで危険性を事前に調べたり、現地についてからホストファミリーに聞いたりした。
念のため、暗くなる前には家に帰るようにしていたが、今回行った土地はとても治安が良かったのであまり不安はなかった。
また、こまめにホストマザーと連絡を取るようになっていた。外を歩くときは、スマホストラップをつけるようにしていた。

- 3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

eSIM は無制限を購入したため価格は少し高めだったが、不自由は全くなかった。
ホストファミリーの家や学校の Wi-Fi を繋げさせてもらったが、学校の Wi-Fi は少し接続が悪かった。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)

3)共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)
キッチンやお風呂など共有部分を使うときは、そのたびに使っているのかを確認するようにした。そうすると、ホストの方が確認せずに使っていいよと許可してくれたので、生活しやすかった。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
学校の先生方が皆さん親切でよかった。授業は、ただ受けるだけではなく、様々なトピックについて他の学生と会話する機会がたくさんあり、他の国のことについてもたくさん学ぶことができた。 他の大学の学生が集団で研修に参加していたこともあり、日本人がかなり多いように感じたが、他の国の学生とも交流する機会は十分あった。授業を受ける際の席が自由席なので、個人的には積極的に他の国の学生の近くに座ったりするのがいいなと思った。
2)課外プログラムについて
学校が開催しているアクティビティが豊富で、お金はかかるがとても良かった。最初は一人で参加しても、友達づくりの良い機会になるので参加するべきだなと感じた。また、授業が13:00には終わるため、平日でも市内を自由に観光できる時間が十分にあったので毎日予定を立てるのが楽しかった。
3)現地での生活に関すること
学校までの通学方法などは現地に着いてからホストファミリーが教えてくれたので安心だった。 水道水が飲めるほど水もきれいで、学校やショッピングモールなどのトイレも比較的きれいだったので生活しやすかったが、紫外線がものすごく強いので日焼け対策はしっかりするべきだなと感じた。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
現地学生とはほとんど交流はなかったが、放課後に近くの大学の日本語を学んでいる現地学生たちと一緒におしゃべりするアクティビティがあった。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
ホストファミリーのお孫さんたちがお家に来た時、庭で遊んだりボードゲームをして遊んだりした。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
夜ご飯の時間が早く、寝るのも早かったので生活リズムが整った気がした。日が落ちるのも遅いため、日没とともに寝るという感じだった。また、夜ご飯を食べる前には、食べ物やまわりの環境に感謝の祈りをしてからご飯をいただくという感じだった。 バスに乗るとき、バス停にバスが近づいてきたら手を挙げて知らせないと、バスが通り過ぎて行ってしまいうので最初は少し戸惑った。街のいたるところに大きい公園があり、ニュージーランドの生活は基本的にスローペースな感じで心地よかった。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

<p>今回の短期留学は、3週間と非常に短い期間だったが、英語を学ぶ意義や自分の課題、今後の目標を明確にしてくれた非常に有意義な経験となった。恥ずかしながら自分にはコミュニケーション手段としての英語力が欠けているということを実感し、日本でも英語を使う環境に身を置きたいなど考えるようになったし、今後も勉強を続けようと思っている。</p> <p>そして、留学は行ってから英語を学ぶ場所ではなく、行く前に学んだ英語を実際に使う場所だということを感じた。とりえず行ってみるという姿勢も大切であり、英語が完璧じゃなくてもコミュニケーションは取ることはできるが、短期留学では滞在期間が限られているため、事前に身につけた英語をどれだけ積極的に使えるかが重要であると分かった。そのため、留学を決めたその瞬間から、実践的に使えるような英語をコツコツ勉強することを強く勧めたい。また、個人で行くことを決めて非常に良かったなと感じており、今回の経験が自分の自信に繋がった。</p> <p>英語が得意な人はもちろん、英語に苦手意識がある人にこそ留学を体験してみしてほしいと思う。</p>

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	CCEL クライストチャーチ英語研修
-----	--------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	28000 円	
図書費・学用品費	円	
携帯・インターネット費	1500 円	
現地通学費	7000 円	(研修先まで 15分)
教養娯楽費	5400 円	
被服費	33000 円	
雑費	20000 円	
その他	円	例:
合計	85900 円	

渡航準備について
1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか 出発前に成田空港の両替所で用意した。いざとなったときに現地でも両替できるよう、日本とアメリカドルの現金を持って行った。
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください クレジットカード スマホにカードを登録していたのでスムーズに決済出来た。 ほとんどの場所でクレジット決済ができたので現金は最低限でよかった。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。 日本での通信契約が海外だと月2GB が無料で使えるプランだったので、そのまま使用できた。2GB を使い切ってしまった後はその都度チャージしていた。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか 小さく折りたためる上着、折り畳み傘、腕時計、除菌シート、ヒートテック

現地情報
1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？ 事前に渡された危険ガイドブックを読んだ。 何かあったときのために学校とホストファミリーに電話をすぐ掛けられるようにした。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 特に不便な点はなかった

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
4) 感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)	

30歳くらいの若いカップルの家に滞在させていただいた。洗濯やシャワーのルールなど疑問点は初日にすべて聞いておくと、現地の生活にスムーズに適應できると思う。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) 研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

良かった点は、初日にしっかりレベル分けをされるので自分と同じくらいの英語力を持った子たちと一緒に勉強できる点。先生も私たちもレベルを把握できているので、適切な課題を与えてくれた。

よくなかった点は、春休みに行くと日本人がとて多い点。友達作りには困らなかったけれど、どうしても英語漬けという状況は難しかった。私は自分から他の国から来た子たちに積極的に英語で話しに行って日本語をなるべく使わないようにしていた。英語に対する自分の意志が弱いと、日本語に頼ってしまっただけで英語力を伸ばすのは難しいと感じた。

2) 課外プログラムについて

毎週火曜日と金曜日にカンパセーションクラブという英語で交流するクラブ、木曜日にスポーツクラブ、週末にアカロアやテカポ湖にいけるスクールアクティビティなど様々な課外プログラムが用意されていた。特に平日のクラブ活動は他のクラスの子と仲良くなれるチャンスが多く、参加者の国籍もバラバラなので海外の子と交流するにはいい機会だった。

3) 現地での生活に関すること

ニュージーランドは現地独自の料理というのはあまりなく、世界各国の料理を食べられるため食事が苦に感じることはそんなになかった。クライストチャーチ市内はバスの交通網が発達していて、市内であれば一人でいろいろなところに行けた。日本と違ってバス停ごとに次のバス停のアナウンスはないので、自分で地図を確認しながら停車ボタンを押すのが新鮮だった。

交流等について

1) プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

CCEL 提携のカンタベリー大学の日本サークルに所属する学生たちと交流することができた。毎週火曜日と金曜日に活動を行っていて、所属する学生たちはみんな日本語や日本の文化に興味のある子たちなので、仲良くなることができた。活動の中では、学生たちに英語を使って日本語を教えたり、一緒にカードゲームをしたりして交流した。同世代のネイティブの子たちと話せるので、交流を通してかなり英語力を伸ばせた気がする。

2) プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

週末に友達が家に招待してくれて一緒にお昼ご飯を食べた。クライストチャーチのおすすめの場所にも連れて行ってくれた。現地学生の友達何人かとは帰国後も連絡を取っていて、たまに英語と日本語を使いながら電話もしている。日本語を勉強している子がほとんどなので、日本語の文法・語彙の使い方などを教えてあげながら、自分も英語で分からないことやニュージーランドの文化について教えてもらっている。

異文化体験について

1) 日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

家で一日に使える水の量が決まっていて、シャワーは一日10分で入ってねと言われていた。洗濯も週に1回のペースで、水を大切に使う文化を体感した。ニュージーランドの人は生活が規則正しく、平日だと22時半ごろには全員が就寝していた。その分朝も早いので、自然と早寝早起きの習慣が身についた。クライストチャーチは気候がわりやすいため、突然晴れたり雨が降ったりすることがあるけれど、現地の人はほとんどの人が傘を持っていなかった。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

ニュージーランドの人たちは穏やかで温かい性格の人が多いため、特に人種差別にあうこともなく楽しんで研修を終えることができた。初めて海外に行く人、英語にそこまで自信がない人でも挑戦しやすい国だと思った。

留学前は間違えるのが恥ずかしくて、なかなか自分から英語を話すことができなかったが、現地での生活やホストファミリーとの会話を通して、完璧じゃなくても伝えようとするのが大切だと実感した。英語に対する意欲も高まり、今後も積極的に学びの機会を増やしていこうと思った。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	海外研修プログラム 2025 年春季(2)
-----	-----------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	20000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	5000 円	
現地通学費	7500 円	(研修先まで 80 分)
教養娯楽費	40000 円	テカポ湖やウィローバンクなどの学校のツアー参加費
被服費	4000 円	
雑費	0 円	
その他	7000 円	例:お土産
合計	83500 円	

渡航準備について

- 1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 空港で両替
その他用意したもの: クレジットカード デビットカード・キャッシュパスポート
- 2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
クレジットカード
- 3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
eSIM
- 4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
割り箸

現地情報

- 1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
 なし あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項:
- 2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？ その際どのように対処しましたか？
初日のオリエンテーションで危険な場所などは教えてもらい、日が落ちてからは出歩かないようにしました。犯罪には巻き込まれなかったです。
- 3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
大学の WiFi は弱すぎてつないでいませんでしたが、ステイ先はつないでいました。eSIM のインターネット回線はとてもスムーズでした。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	
<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

ご飯、パン、カレー、肉、サラダ、おにぎりなど様々な種類のご飯がバランス良く出され、食に関しては飽きることがなかった。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

授業はレベル別に分かれていて、最初の日に受ける簡単なテストで分けられるが、自分のレベルに授業が合わないと感じれば簡単に変更することができる点良かった。良くなかった点は、時期的な問題はあるかもしれないが生徒がほぼ 70%くらい日本人だった。

2)課外プログラムについて

カンパセーションクラブやサッカー、バスケができるようなイベントが充実していた。

3)現地での生活に関すること

バス移動が基本だが、”transit”というアプリを入れるとスムーズに乗り換えができる。また、”uber”というタクシーアプリは現地に入れても使えないので、日本で入れてから留学に行くことをおすすめする。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

授業は基本的に英語で会話をすることがメインなので、様々な国や地域から来た学生の話聞いた。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

授業後はクラスメイトとお昼ご飯を一緒に食べながら英語で雑談をすることもあった。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

朝ご飯は主に自分で冷蔵庫を開けて適当に食べるスタイルで、夜ご飯は肉やサラダ、副菜などが作られてそれを自由に取って食べるbuffet形式が一般的なのに驚いた。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

私は今回、三週間という最も短い留学期間を選んだが、実際に過ごしてみると正直なところ全く足りなかったと感じている。クライストチャーチは本当に魅力的な町で、道を歩いていると知らない人でも笑顔であいさつをしてくれたり、気軽に話しかけてくれたりする温かい雰囲気がある。また、自然がとても豊かで、ハイキングができる山や、少し足を延ばせば美しいビーチにも行くことができ、日々新しい発見があり飽きることなく楽しく生活することができた。

学校では、日本とは異なるさまざまな背景を持つ人々と出会うことができた。例えば、南米からニュージーランドに来てこちらで仕事を探すために英語を学んでいる人や、韓国から家族で移り住んできた主婦の人など、年齢や目的も多様な人々と交流することができた。彼らの話を聞か中で、英語を学ぶ理由や人生の目標が人それぞれ異なることを実感し、大きな刺激を受けた。

今回の研修を通して、英語力の向上だけでなく、自分から積極的に行動することの大切さを学んだ。今後の学生生活では、この経験を生かして英語学習を継続するとともに、さまざまなことに積極的に挑戦していきたい。また、これから留学を考えている後輩には、可能であれば少しでも長い期間の留学を選び、現地での生活や人との交流を思いきり楽しんでほしいと思う。留学は語学力だけでなく、自分の視野や考え方を大きく広げてくれる貴重な経験になると感じた。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	CCEL クライストチャーチ英語研修
-----	--------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	約20000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	約6500 円	SIM カード
現地通学費	7800 円	(研修先まで 60 分) バス代、メロカード使用
教養娯楽費	約 25000 円	学校のアクティビティ参加、入場料など
被服費	6000 円	水着を購入
雑費	円	
その他	約15000 円	おみやげ代
合計	80300 円	

渡航準備について

- 1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか

現金の用意方法: 成田空港で換金
 その他用意したもの: クレジットカード デビットカード・キャッシュパスポート

- 2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください

クレジットカードが主だったが、たまに現金しか使えない店もあったので用意しておいて損はないと思う。

- 3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。

物理の SIM カードを用意した。エージェントからお勧めされたものを利用した。

- 4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか

スリッパ、サングラス、日本のお菓子、洗濯ネットは用意して行ってよかった。
 水筒と、天気が悪く寒かったので長袖をもっと持っていけばよかった。

現地情報

- 1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)

なし あり (問題の内容や相談した人等:)
 特記事項:

- 2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？

外務省のたびレジの登録をした。
 特に犯罪には巻き込まれなかった。

- 3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

特に問題なく使えた。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

ホストファミリーがとても親切で、何一つ不自由なく過ごせた。食事もとてもおいしかった。日本の抹茶味のお菓子を持っていったらとても喜んでくれた。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

クラスで色々な国籍の人と交流できた点、スピーキングの機会が圧倒的に増えた点がとても良かった。異文化交流の良い機会になった。

良くなかった点は、どうしても日本人が多く日本語が多く聞こえてくる点。

2)課外プログラムについて

学校が提供する課外プログラムがいくつかあったが、私が行ったときにはどれも予約枠が埋まっていて参加できなかった。キャンセル待ち等で参加していた人はいたので、学校の受付の人などに相談してみると良いかもしれない。

3)現地での生活に関すること

とても自然が豊かな街で、治安も良く過ごしやすい。また小さな町なので、短い期間でも十分に楽しめると思う。

気温差が激しいので長袖を多く持っていくべきだと感じた。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

ホストシスターがニュージーランド育ちの同年代の子であったが、学校などではほとんど現地の人と交流はなかった。ただ、それ以外の国籍の人と話す機会は多かった。(タイ、コロンビア、サウジアラビアの学生など)

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

ホストファミリーが家によく友人等を招く人だったため、それらを通じて同年代のアメリカ人の男の子や、同じく留学に来ているコロンビアの女の子などと交流があった。一緒に現地の脱出ゲームに参加したりした。ホストファミリーからの誘いは基本断らなかったため、それが様々な交流につながったとを感じる。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

町の中心部から離れると横断歩道がほとんどないので、自分でタイミングを見極めて道路を渡る必要があつてとても怖かった。わたるために道の真ん中で止まっている人もいた。

町の店は閉まるのがとにかく早く、夜6時くらいになるとカフェ等はたいてい閉まっていた。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

私は海外に行ったこと自体が初めてだったのですが、実際に異なる文化を体感したことでたくさん学べるものがありました。語学学校にいた色々な国の人たちとコミュニケーションを通じて学べたものもあるし、ホストファミリーとの交流でニュージーランドの文化を学ぶこともできました。英語に関しては、コミュニケーションが成立するかを心配するより、積極的に取ろうとする姿勢が大事で楽しむことにも繋がると思います。私の場合は3週間という短い期間だったので、色々なところにとりあえず行ってみる、やってみるというのが大切だったと感じました。最初は不安でしたが、終わってみるととても貴重な体験で行って良かったと思えました！

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	CCEL クライストチャーチ英語研修
-----	--------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	20000 円	
図書費・学用品費	円	
携帯・インターネット日	1000 円	二週間海外データ通信が無料だったため一週間分の e-sim 代
現地通学費	8000 円	(研修先まで 50 分)
教養娯楽費	10000 円	
被服費	円	
雑費	円	
その他	3000 円	例:お土産など
合計	42000 円	

渡航準備について

- 1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法:クライストチャーチの空港で両替
その他用意したもの: クレジットカード デビットカード・キャッシュパスポート
- 2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
ほとんどのお店やバスでもクレジットカードが使えます。地域のマーケットでの支払いや割り勘するときには現金を使用しました。
- 3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
World e-sim
- 4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
ヒートテック、白米やおせんべい、洗濯ネット、水筒、ウエットティッシュ

現地情報

- 1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例:研修の相談窓口、現地の友人等)
 なし あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項:
- 2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
外務省のたびれじの登録。犯罪に巻き込まれることはなかった。
- 3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
困ることはなかった。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

とても暮らしやすかった。家庭によってはシャワー時間の制限があったという人もいたので初日に洗濯やシャワーなどの家庭内のルールを確認すると良いと思った。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

席を移動してクラスの色々な人と関われたことはよかったです。
ほとんど日本人だったことは少し残念でした。

2)課外プログラムについて

色々なプログラムがあったが春休みの時期で生徒が多かったため、すでに予約が埋まっていて参加できるプログラムは限られていた。

3)現地での生活に関すること

バスは便利だが時間通りに来ないことも多い。休日は本数が少ない。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

現地学生との交流はなかったが、クラスには中国人、韓国人、タイ人の人がいて、お互いの国について話をしたりした。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

滞在先に子供が3人いる家庭だったので一緒にカードゲームをしたり週末にビーチに行ったりした。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

21歳の誕生日を盛大に祝う文化のあるニュージーランドの誕生日会に参加させてもらい貴重な経験ができた。
夕食はワンプレートでスープなどの汁物は一度も出なかった。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

とても充実した毎日を過ごすことができました。特にホームステイは現地の人の実際の暮らしを体験できる留学ならではの貴重な経験になりました。夕食を一緒に食べながら一日の出来事を話したり、ゲームをしたり、週末にはテカポ湖などの観光地にも連れていってくれたり本当の家族のように接してくれました。イギリス文化の影響があり、夕食の事をディナーとは言わずにティーと言ったり、通りの名前にイギリスの地名が使われていたり毎日いろいろな発見があり、とても楽しかったです。ハイキングやビーチ、星空など大自然を楽しみたいという人には特におすすめです。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	CCEL クライストチャーチ英語研修
-----	--------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	50,000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	10,000 円	
現地通学費	0 円	徒歩(研修先まで 25 分)
教養娯楽費	70,000 円	イルカを見るためのお金
被服費	20,000 円	
雑費	20,000 円	
その他	0 円	例:
合計	170,000 円	

渡航準備について

- 1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法:
その他用意したもの: クレジットカード デビットカード・キャッシュパスポート
- 2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
タッチ決済
- 3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
日本で契約した SIM
- 4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
防寒着、風邪薬

現地情報

- 1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
 なし あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項:
- 2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
ホストファミリー
少し怪しい人はいましたが、忘れ物が返ってくるぐらいには治安はよかったです。
- 3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
市街地はしっかりつながるものの、郊外の観光地はつながらないことがある。
ホームページには電波があると記載されてた場所でもつながらないことがある。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

食事の質は期待しないで行ったほうががっかりしない。
ペットがいると用がなくてリビングにしやすいファミリーと仲良くなりやすいと感じた。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

時期的に日本人が多い時期であった。ただ能動的に英語を話す場所に行けば英語でのコミュニケーションがどれだけ難しいかを感じることができた。授業は先生によって当たりはずれがあり、当たりだとスピーキング多めでお別れの時はピザパーティーをしてくれたりする。

2)課外プログラムについて

スポーツクラブやカンパセーションクラブ、カヤック体験などが放課後にあり、土日には郊外の観光地に行けるツアーがあった。平日のアクティビティは楽しくて新たな友達を作る機会になるが、土日のツアーは自分で予約していったほうが安くて自由が利くと友達の話聞いて感じた。

3)現地での生活に関すること

クライストチャーチは治安が良くて現地の人も温かい人が多いです。現地民が比較的多国籍なので差別なども少ないと思います。外食は高いです。一食20ドルはざらです。そのためスーパーマーケットを使うと安く抑えられます。スーパーも野菜が量り売りだったり、バカでかかったり、日本の商品があつたりと見ていて飽きません。ただ天気も気温も変わりやすいので防寒着は必須です。季節が逆といっても日本の真夏ではないです。あと紫外線もすごい。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

現地学生には大学の図書館や食堂に行けば会えますが、交流ができるかは微妙です。自分から日本語教室に行って交流している人などもいました。自ら交流をしに行かないと機会はほぼないです。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

イルカウォッチングツアーなどで隣にいる人に話してみると、意外と仲良くなれます。フレンドリーな人が多めなので必要なのはいい人そんな人を見つけて一言話してみるだけです。カメラ持ってる人に写真見せてほしいですって言うのはおすすめです。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

留学期間にセントパトリックデーがありその日は緑の服やハットをかぶってビールを飲む日で、中心地に出るとみんなが大熱唱しながら踊り狂う人たちを見られて楽しかった。ただ私はサンダルで行ってしまって外から見るだけになってしまったので行くときは靴で行ってください。あとパスポート自体がないと店に入れないところがあるので注意です。サマータイムを利用しているので9時ぐらいまで明るい。フィッシュアンドチップスは意外とおいしいです。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

英語は単位振替や就職進学のためのものではなく世界の人と意思疎通をとるための道具なのだと痛感させられた。個人的な意見としては1か月の留学では劇的に発音も変わってペラペラになることはほぼ不可能だと感じた。でも自分の英語がどれだけ伝わって、海外の人とのコミュニケーションがどれだけ楽しく選択肢が広がるかを知るには十分だったと思う。自分は人に恵まれたのもあるかもしれませんが、初めての海外、留学がニュージーランドでよかったなと思います。自然、アウトドア、ラグビー、ハイキング、イギリスっぽい街並みが好きな人は向いていると思います。あと郊外の満点の星空は言葉が出ないくらい綺麗でした。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	クライストチャーチ語学研修
-----	---------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	20000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	300 円	
現地通学費	6000 円	(研修先まで 30 分)
教養娯楽費	40000 円	遊園地等の入場料
被服費	4000 円	セーター
雑費	0 円	
その他	10000 円	例:お土産
合計	80300 円	

渡航準備について

- 1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 日本の空港で両替
その他用意したもの: クレジットカード デビットカード・キャッシュパスポート
- 2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
クレジットカード
- 3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
ahamo 現地で 15 日間そのまま使えたのでよかった
Klook 残りの 1 週間分を 1GB だけ購入した。とても安いのでおすすめ
- 4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
水筒 給水スポットが結構ある
エコバック
軽いアウター 思っていたよりも寒暖差があるため

現地情報

- 1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
 なし あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項:
- 2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
ホストファミリーや COEL の友達に聞いた
夜は出歩かないようにする
- 3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
特に問題なし

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

ホームステイでは、最初に家のルールをしっかりと確認しておくことがとても大切だと感じた。洗濯の方法や掃除機の使い方、シャワーの時間など、日本とは異なる点も多いため、分からないことがあればその都度質問することが重要！
また、食事は毎日のことなので、感謝の気持ちを伝えることを前提としつつ、苦手なものやアレルギー、好みについては早めに伝えておく方がよいと感じた。実際に、きちんと伝えたことでホストファミリーも配慮してくれ、より快適に生活することができた。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

授業はレベル別に分かれており、少人数で発言の機会が多い点が良かった。スピーキングやディスカッションを中心とした授業内容で、実践的な英語力を身につけることができた！
一方で、定期的に日本人学生が多く、クラスによっては日本語で話してしまう環境でもあった。そのため、自分から積極的に他国の学生に話しかけなければ、英語で話す機会は限られてしまうと感じた。

2)課外プログラムについて

週末にはスクールトリップが用意されており、観光地を効率よく回ることができる。人数制限があるため、参加を希望する場合は早めの申し込みが望ましい。個人で手配するよりも費用面でお得であり、他国の学生と交流する良い機会にもなるため、積極的に参加することを勧めたい。
平日には、コンバセーションクラブやクッキングクラブ、ミュージッククラブ、スポーツクラブなどの活動があり、授業外でも英語を使う機会が設けられている。参加は任意だが、こうした場を足で運ぶことで自然な会話力が身につくと感じた。

3)現地での生活に関すること

授業は8時30分から13時までで、午後は自由時間となる。そのため、復習や課題に取り組むこともできれば、観光や友人との交流を楽しむこともできる。自分の時間をどのように使うかが重要であり、主体性が求められる環境であった。
また、夏の時期は21時頃まで明るいので、放課後も活動しやすく、充実した日々を過ごすことができた。治安も比較的良く、落ち着いた雰囲気の中で安心して生活することができた。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

プログラム内では、現地学生との交流は多くはなかった。しかし、プログラム外で積極的に行動することで交流の機会を広げることができた。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

CCELで知り合った友人から、カンタベリー大学の「jsocuc」という、日本語を学ぶ学生と英語を学ぶ日本人学生が交流する団体の存在を教えてもらい、活動に参加した。そこではお菓子を囲みながらゲームをしたり、日常生活や文化について話したりと、リラックスした雰囲気の中で交流を深めることができた。教室とは異なり、より自然な会話が生まれる貴重な経験であった。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

印象に残っているのは、意見をはっきり伝える文化である。授業中も日常会話でも、自分の考えを率直に表現する姿勢が当たり前であり、最初はその積極性に驚いた。しかし、意見が異なることを否定的に捉えるのではなく、議論を楽しむ姿勢に触れ、日本との違いを感じた。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

今回の留学を通して、語学力だけでなく、自ら行動する力の重要性を学んだ。環境が特別だから成長できるのではなく、その環境の中でどれだけ主体的に動けるかが鍵であると実感した。迷っているならば、ぜひ参加することを勧めたい。不安があっても、現地に行けば必ず支えてくれる人がいる。そして、挑戦した分だけ自分の世界は確実に広がる。
今後は、この経験を一時的な思い出にするのではなく、英語学習の継続や異文化理解への姿勢として大学生生活に活かしていきたい。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	CCEL クライストチャーチ英語研修
-----	--------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	18000 円	スーパーで買って安く済ませることも
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	4700 円	eSIM 代
現地通学費	7500 円	(研修先まで 20 分)
教養娯楽費	31000 円	
被服費	0 円	
雑費	3000 円	
その他	20000 円	例: おみやげ
合計	84200 円	

渡航準備について

- 1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 出発当日に空港で両替をした。
その他用意したもの: クレジットカード デビットカード・キャッシュパスポート
- 2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
VISA のタッチ決済があれば不自由なく支払えるので用意すべきだと思う。
- 3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
Spark の 10GB 携帯電話付きの eSIM を購入した。番号はあってもなくてもよいと感じた。
- 4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
ウェットティッシュ、水筒、帽子(日差しが強いため)、割りばし、スリッパ、電子辞書

現地情報

- 1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
 なし あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項:
- 2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
外務省のたびレジを登録した。遅い時間にはそもそも出歩かないようにしていた。
- 3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
eSIM が通じにくいエリアもあったが他は問題なく使用できた。ホームステイ先でも学校でもしっかりと接続できた。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	

<p>4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)</p> <p>週末はどこに行きたいかというのを聞いてくれて、日帰りドライブに連れて行ってくれたり、日曜には一緒に教会にいたりなどした。</p> <p>洗濯は天気や気温に合わせて柔軟に対応してくれた。</p> <p>親戚が訪ねてくることも多くいろいろな人と出会うことができた。</p> <p>その家庭の生活に合わせて生活スタイルは様々なのでそれに合わせて動くのも楽しいと思った。</p>
--

<p>プログラム選択の参考となる点を記載してください</p>
<p>1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。</p> <p>4 技能バランスよく全部学ぶことができる。ミニゲームなどを通じて授業内で出てきた英単語を復習したり、クイズを作ったりなどただ覚えるだけではない楽しさがあった。</p> <p>春休み期間だったため日本人が多く、それを好まない人には合わないだろうと思った。</p>
<p>2)課外プログラムについて</p> <p>ほぼ毎日授業後にアクティビティが行われていた。ランダムでいろいろな人と交流する英会話の時間や、英語やマオリ語の歌を学ぶ時間プログラムもあった。また、週末には宿泊込みの観光アクティビティなどもあるため現地の友達と観光がしやすいと思う。</p>
<p>3)現地での生活に関すること</p> <p>街全体のバスで大体のところに移動することができ、車などがなくても学校帰りに気軽に遊びに行くことができる。街がそこまで広くないため、行きたいところは十分回ることができると思う。また、山も海もあり自然に囲まれているため、ハイキングやサイクリングにもよい場所である。</p>

<p>交流等について</p>
<p>1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。</p> <p>クラスメイトにタイや中国、韓国などほかの国から学びに来ている人もいるためその人たちと文化の話などをした。</p>
<p>2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。</p> <p>ニュージーランドの学生との交流は大学のアクティビティに参加すればできるようだが、私は参加しなかった。</p>

<p>異文化体験について</p>
<p>1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。</p> <p>ショッピングモールなどが閉まる時間が早かったり、家での食事の時間が早かったりと東京ではあまりないので面白かった。</p> <p>また、日曜日にホストファミリーと一緒に教会に行った際、厳かな雰囲気とは全く違う礼拝をおこなっていたのが文化の差を感じ興味深かった。</p>

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

<p>ホームステイは、その国や家庭ごとの文化を肌で感じることができる貴重な機会であり、とてもおすすめで感じた。春の時期は日本人が多い環境ではあったが、その中にもさまざまな価値観やバックグラウンドを持つ人がいて、それを知るためにもクラスメイトなどと積極的に交流することの大切さを実感した。また、現地の人々(Kiwi)の英語はアクセントにかなり特徴があり、リスニングには苦勞する場面も多く、慣れるまでに時間がかかると感じた。今回の経験を通して、英語学習へのモチベーションがさらに高まり、これからは継続して学び続けたいと思えるようになった。</p>

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	CCEL クライストチャーチ
-----	----------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	約40000 円	
図書費・学用品費	円	
携帯・インターネット費	約3500 円	
現地通学費	円	(研修先まで 分)
教養娯楽費	円	
被服費	円	
雑費	約15000 円	お土産
その他	約180000 円	例:入院費
合計	約188500 円	

渡航準備について

- 1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか

現金の用意方法:
 その他用意したもの: クレジットカード デビットカード・キャッシュパスポート

- 2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください

クレジットカード

- 3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。

滞在15日間は amamo の海外データ通信を使用した。そのあとは World esim を使用した。

- 4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか

天気がすぐ変わると、風が冷たいので、長袖やパーカーは必要。

現地情報

- 1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例:研修の相談窓口、現地の友人等)

なし あり (問題の内容や相談した人等:ホストファミリー)
 特記事項: 緊急病院で一晩だけ入院した。

- 2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

なし

- 3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

eSIM に変更したあと、通信が遅くて不便だった。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	
<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

とても優しい方達で家の中でもリラックスして過ごすことができた。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

色々な国の人と交流することができた。
日本人が多かった。

2)課外プログラムについて

泊まりでテカボ湖ツアーやカヌー体験をすることができて、いい経験になった。

3)現地での生活に関すること

多くの人が公園でランニングやウォーキングをしていて健康的。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

中国人やコロンビア人と友達になれた。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

ご飯を食べに行き、ドライブをした。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

家族と過ごす時間を大切にしている印象があった。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

3週間という短い期間だったが、非常に内容の濃い時間を過ごすことができてとても楽しかった。自分の英語のレベルは低かったが、伝える勇気を持つことで、なんとなくでも伝えることができたことが嬉しかった。また、学校で出会った多国籍の人たちと、仲良くなり学校帰りにランチをした。また会いたいと思う。そして一番重要なことは、現地で体調を崩さないことに注意を払ってほしい。なぜかというと、病院代がすごく高い、そして医者英語が理解できない。結局、自分が何の症状なのかよくわからないまま帰国した。今思えばこれもいい経験だったなと感じるが、お金が一気に飛んでいくので、常に頭の隅っこに節約の文字が浮かんでいた。